

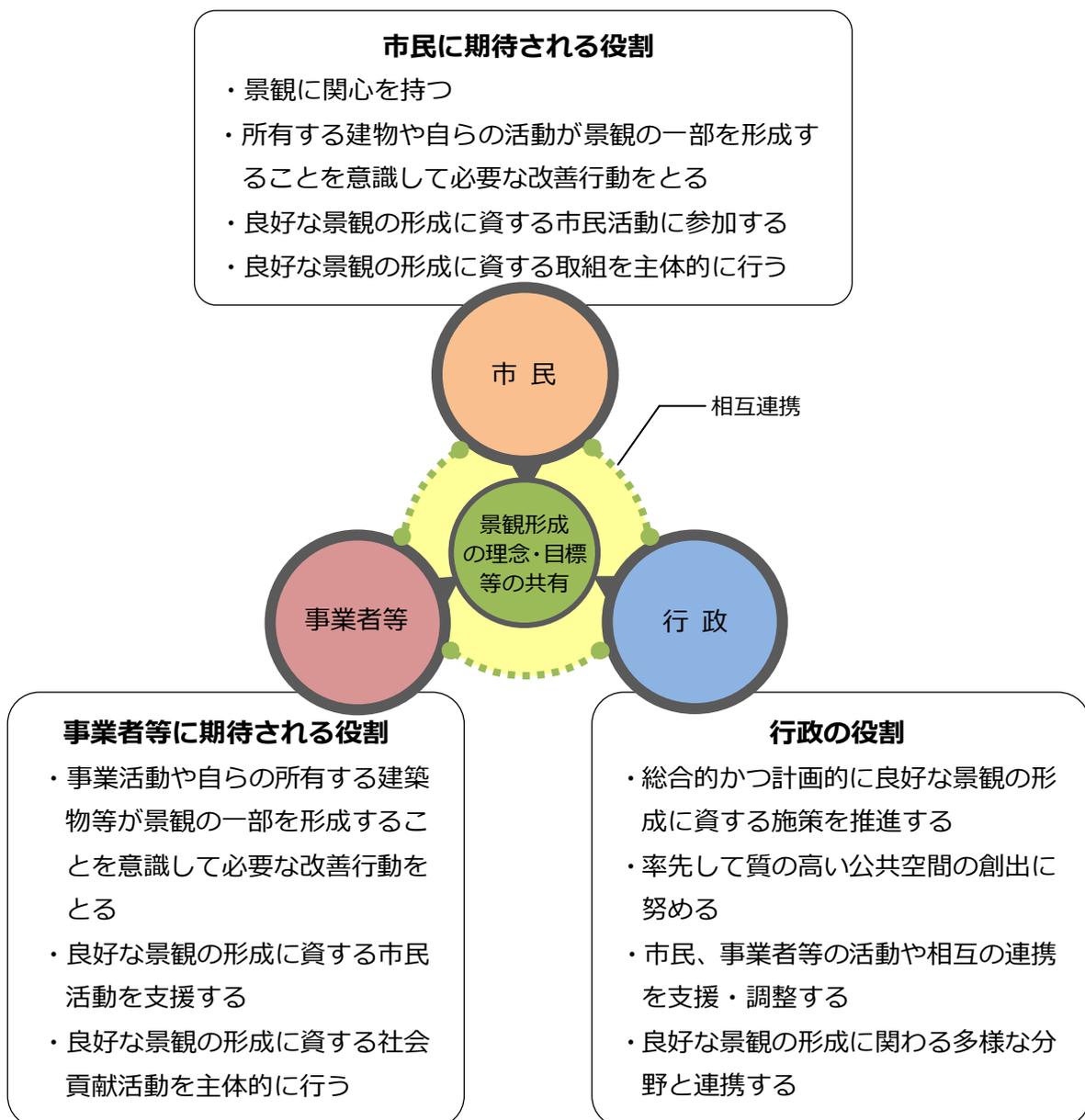
## 第6章

計画の推進にあたって

## 第6章 計画の推進にあたって

### 6-1 計画の推進体制

良好な景観を形成するためには、市民や事業者、行政等それぞれの主体が相互に役割を担い合うことが重要です。この計画の推進にあたっては、理念や目標を共有し、それぞれが以下のような役割を担って連携して取り組んでいきます。



## 6-2 計画の進行管理

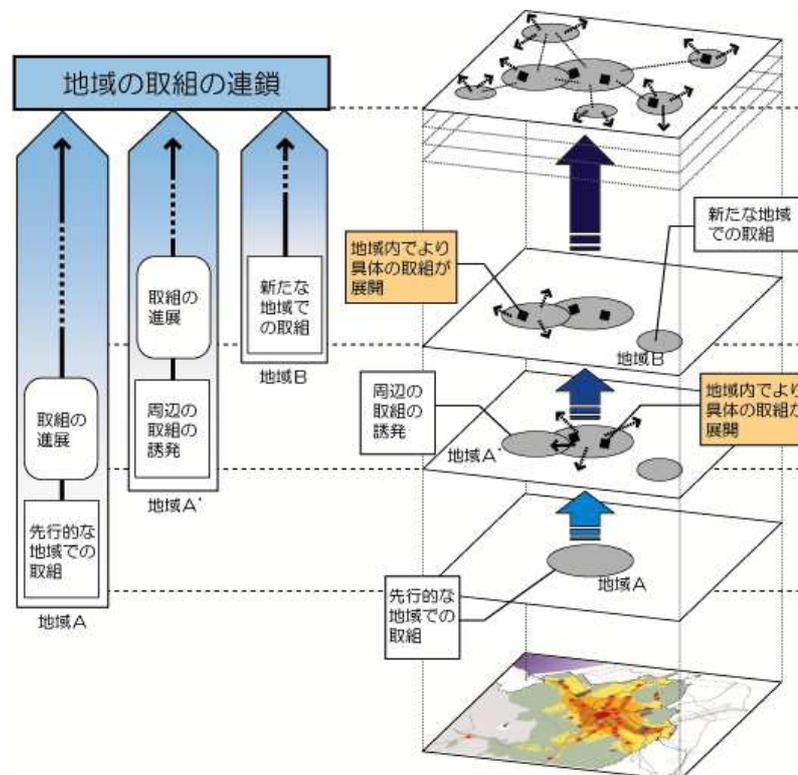
### ① PDCAによる進行管理

計画の進行管理にあたっては、この計画(Plan)に基づく具体的な取組を展開し(Do)、その結果を検証して(Check)、必要な改善を行う(Action)サイクルを繰り返すことで、段階的かつ継続的な発展(スパイラルアップ)を図っていきます。



進行管理のPDCAサイクル(イメージ)

また、札幌全体の景観の魅力を高めていくために、地域個々の取組が地域の内外での新たな取組を誘発し、それらが相互に関係付けられながら連鎖的に展開されることを目指します。



地域の取組の連鎖

## ② 活動指標及び成果指標による進行管理

この計画に基づく個別の取組の進行管理は、第5章のロードマップを活動指標として行います。

また、計画全体の進行管理のためには、成果指標を設定することが効果的です。その成果指標としては以下のものが考えられますが、現時点で十分なデータ等の蓄積がないことから、今後、定期的なアンケート調査を行うことなどを通じ、成果指標のあり方について検討していきます。

- 札幌の景観に対する市民の評価（札幌全体・地区別）
- 景観施策についての市民の認知度
- 景観まちづくりの取組を行っている地区数